

# GPODFD i s p l a y の分散処理

2022年07月05日

*HelperTex Office*

## 概要

E B S Dなどの離散データに対し、L a b o T e xでは、データの直接解析が行われるため、離散的なODF解析が行われている。一方、H e r m o n i c法によるODF解析では平滑化されたODF解析が行われている。

このようなデータに対し、L a b o T e xを使用していると、平滑化が欲しくなる時があります。E B S Dデータに対し、M T E Xでは、F W H M指定で平滑化（分散処理）が行われている。この分散処理をL a b o T e xで実現するためにG P O D F D i s p l a yに機能を追加した。

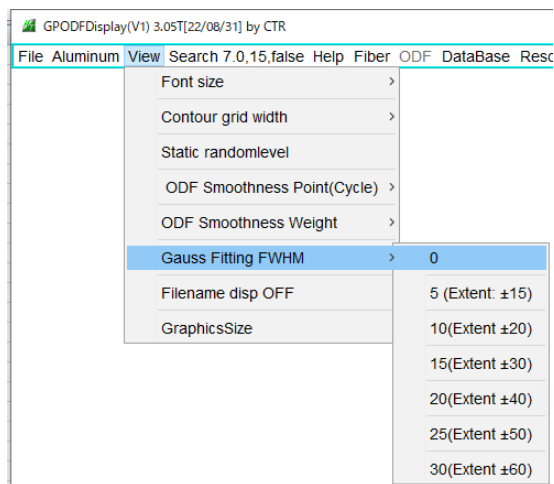
## 従来

L a b o T e x O D F F i l eソフトウェア+G P O D F D i s p l a yでODFの平滑化を行っていた。単純移動平均で実現していた。

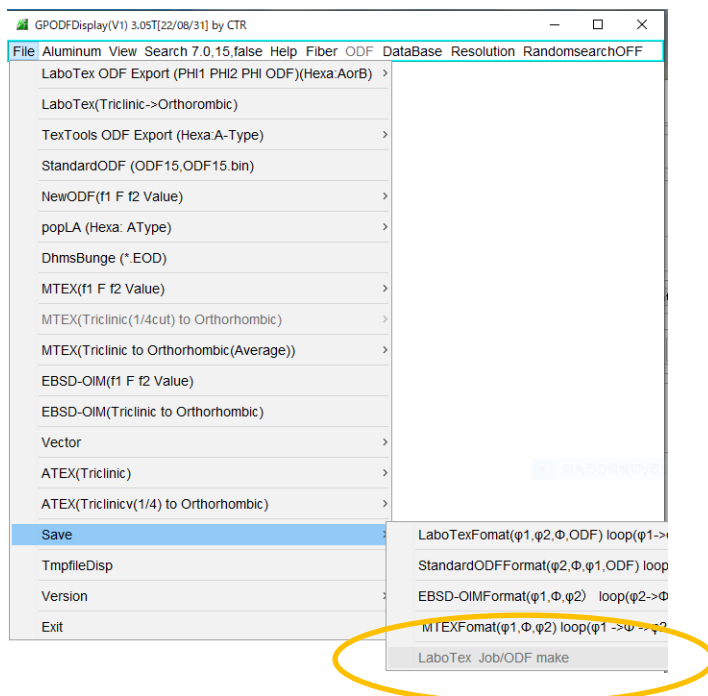
## 今回

G P O D F D i s p l a yにより、直接L a b o T e x管理下のJ o b / O D Fに対し分散処理による平滑化を実現し新しいJ O b 2 / O D Fを作成する。

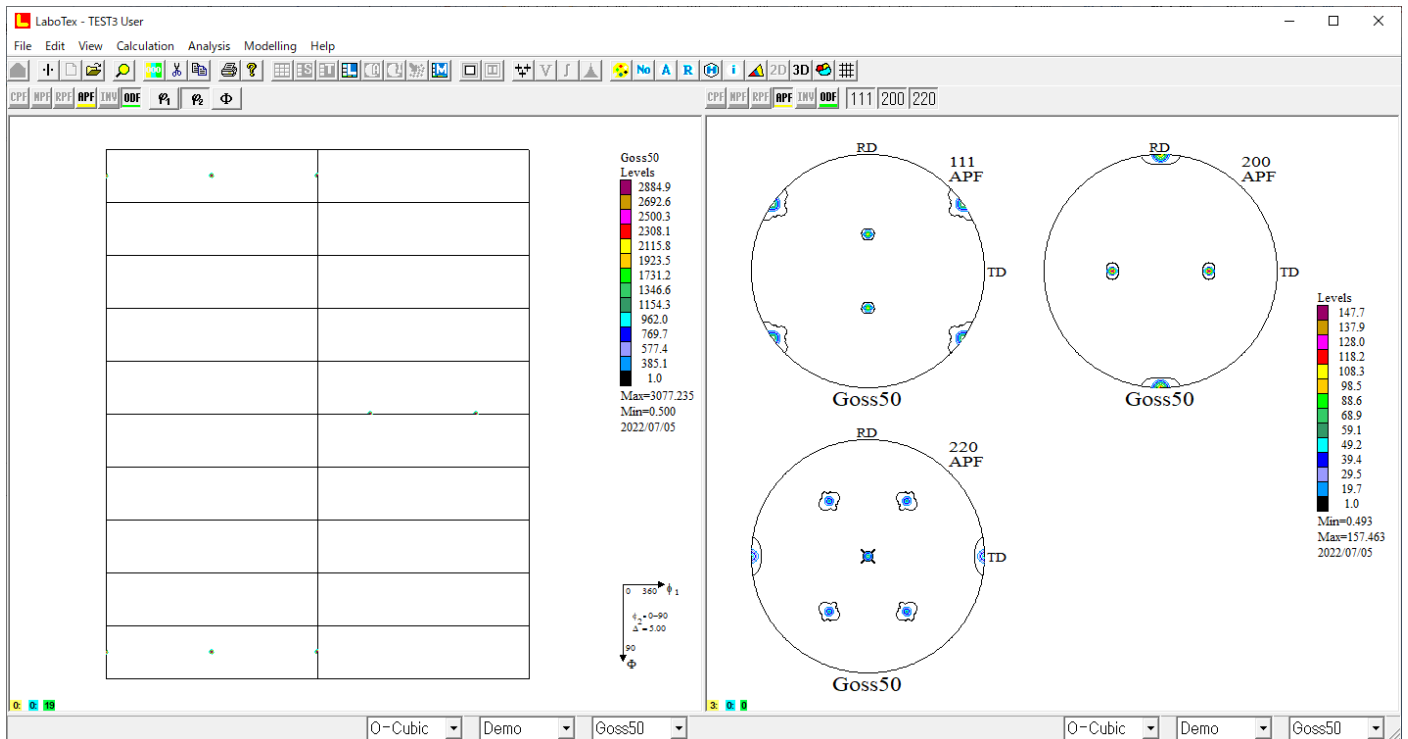
### 分散処理



### 新しいJ o bファイル作成



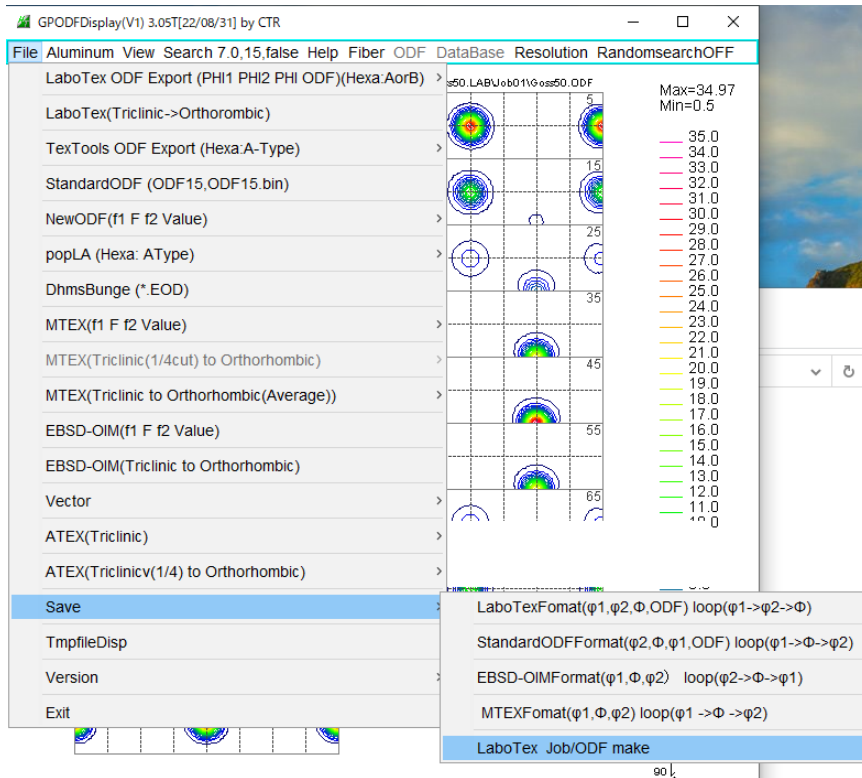
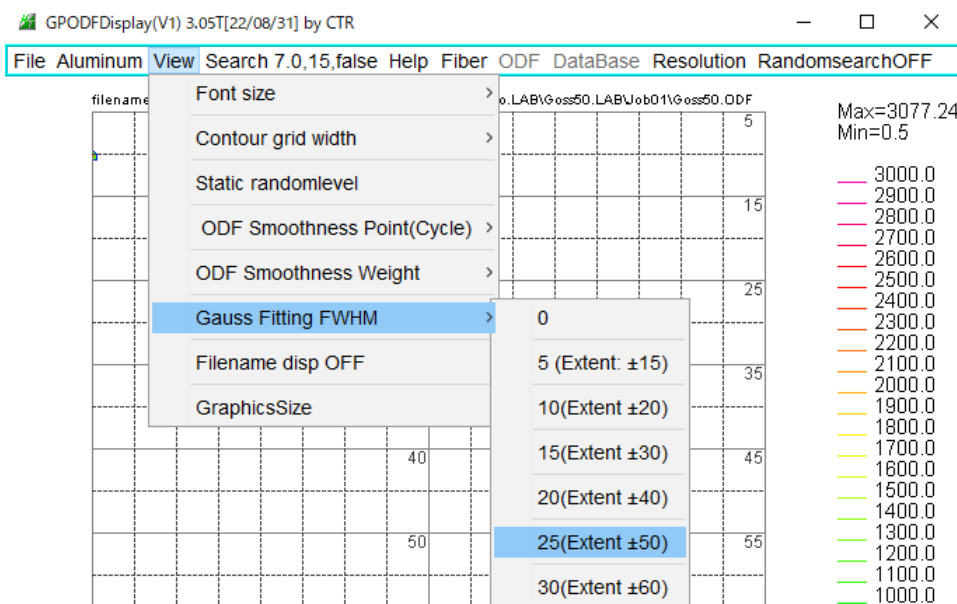
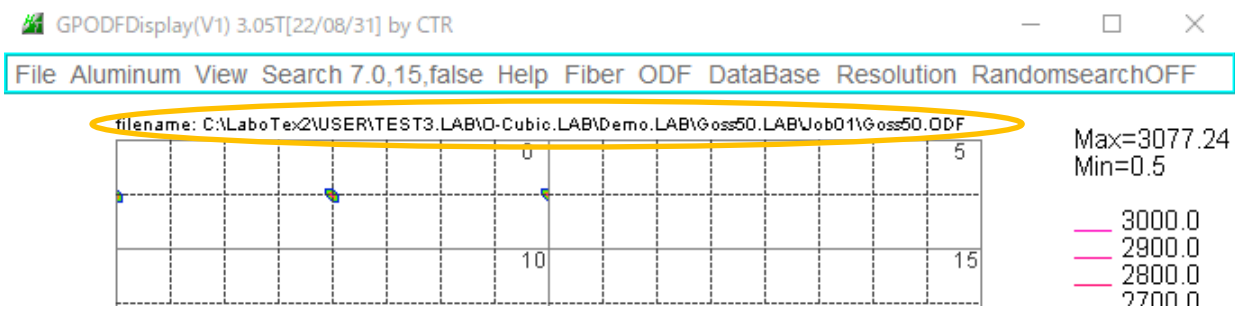
実際の操作（離散データの代わりに単結晶的なデータ作成 VF%=50%）



(C:) > LaboTex2 > USER > TEST3.LAB > O-Cubic.LAB > Demo.LAB > Goss50.LAB > Job01

名前	更新日時	種類	サイズ
Goss50.APF	2022/07/05 9:24	APF ファイル	18 KB
Goss50.ODF	2022/07/05 9:24	ODF ファイル	103 KB
Goss50.POD	2022/07/05 9:24	POD ファイル	1 KB

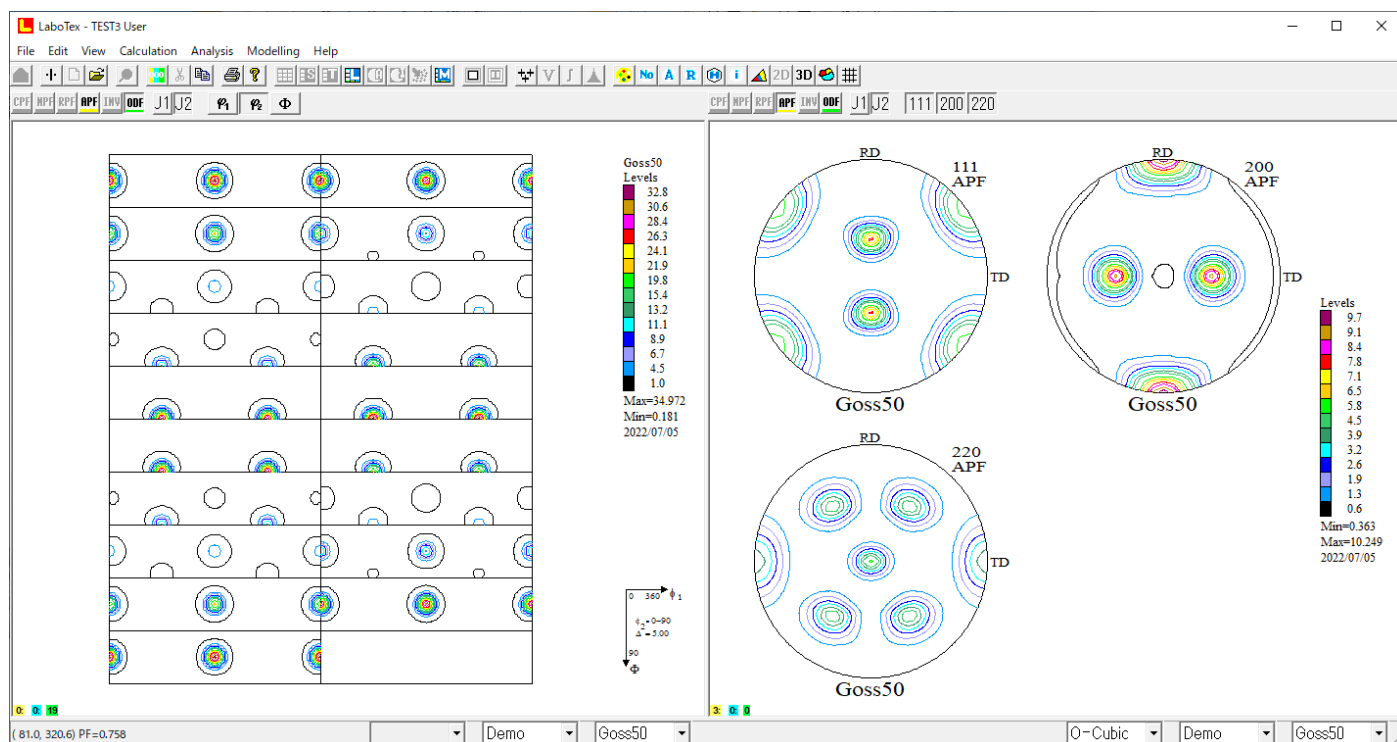
分散処理 (Job1/ODFに対しFWHM=25)



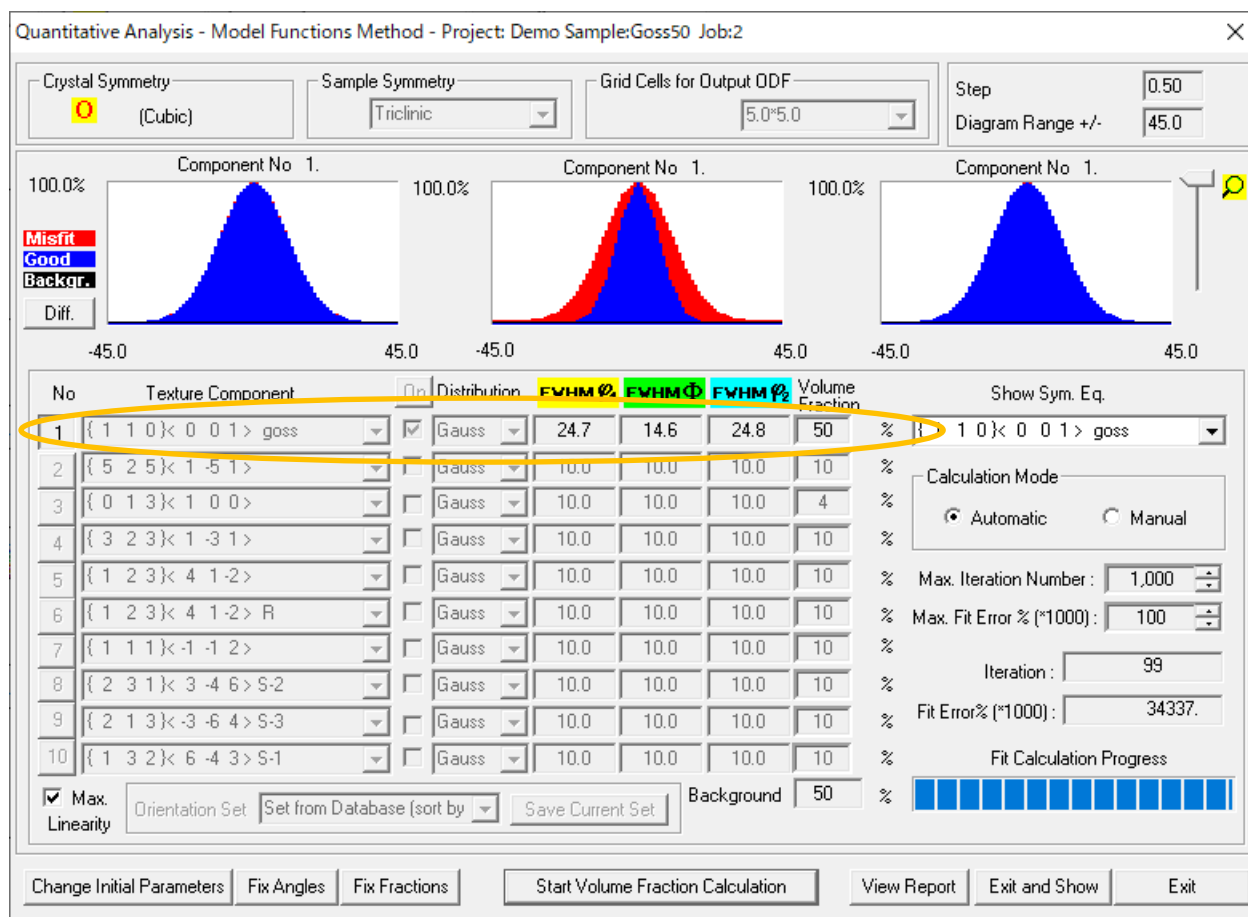
(C:) > LaboTex2 > USER > TEST3.LAB > O-Cubic.LAB > Demo.LAB > Goss50.LAB > Job02

名前	更新日時	種類	サイズ
Goss50.ODF	2022/07/05 9:36	ODF ファイル	103 KB

LaTeXで再読み込み



Job 2 / ODFのVolume Fraction



分散処理前の50%を得る。